

BEST AVAILABLE COPY

Abbreviated Translation of JP58-3723U (Laid-Open No.3723/1983)

21. Utility Model Application Number: U56-96081

22. Application Date: June 30, 1981

23. Laid-Open Number: JP58-3723U

24. Laid-Open Date: January 11, 1983

71. Applicant: KOKUYO Co., Ltd.

72. Inventor: Ryoichi NAKAGAWA

(Specification)

1. Title of the Invention

Cap for cord pass-through hole

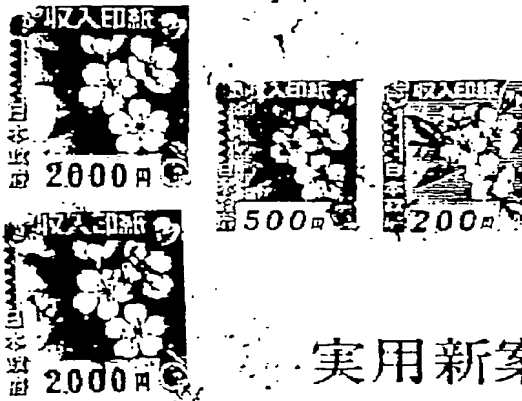
2. Claims

(1) A cap for cord pass-through hole comprising a cylindrical holding case 2 to be inserted into and held in a cord pass-through hole 8 and having engagement shoulders 2a and a cap body 1 to close the cord pass-through hole 8 including a main cap 1a and a subsidiary cap 1b removable from each other, said subsidiary cap 1b having an insertion guide 6 extending from the rear end thereof and said main cap 1a provided with leg bodies 3 having a hook 3a to be engaged with each of said engagement shoulders and guide supporting members 5 to support said insertion guide 6 of said subsidiary cap 1b.

(2) A cap for cord pass-through hole as set forth in claim 1 and wherein said insertion guide 6 is supported in said guide supporting members 5 and 5 so that the surfaces of said caps 1a and 1b are on the same plane when the cap body 1 is formed by coupling said main cap 1a and said subsidiary cap 1b.

(3) A cap for cord pass-through hole as set forth in claim 1 or 2 and wherein said main cap 1a has an area larger than that of the subsidiary cap 1b.

(4) A cap for cord pass-through hole as set forth in claim 1, 2 or 3 and wherein said holding case 2 and said cap body 1 have a circular form when they are observed from the plane view.



実用新案登録願

(4,000円)

昭和 56 年 6 月 30 日

特許庁長官

島田 春樹 殿

1. 考案の ^{フリガナ} **名通** コード挿通孔のキャップ

2. 考案者

^{フリガナ}
住所

大阪府大阪市東区谷町4の4の3

^{フリガナ}
氏名

中 川 良 一

3. 実用新案登録出願人

^{フリガナ}
住所

大阪府大阪市東成区大今里南6の1の1

^{フリガナ}
氏名(名称)

(135) コク ■ 株式会社

代表者 島田 暉之助

(国籍)

4. 代理人 〒 105

住所

東京都港区西新橋2の9の2 大和ビル4階

(6575) 井堀士 大 内 俊 治

氏名

5. 添付書類の目録

(1) 明細書 1通

(3) 願書副本 1通

特許庁

56.6.30

出願第二課

(2) 図面 1通

(4) 委任状 1通

本田

式登
方審

254

大田00 - 3723

56 096081

3

明 細 書

1. 考案の名称

コード挿通孔のキャップ

2 実用新案登録請求の範囲

- (1) コード挿通孔に嵌合保持される筒型保持ケースの内周壁に係止段部を形成し、またコード挿通孔を閉塞するキャップ本体を分離可能なメインキャップとサブキャップとから構成するとともに、前記サブキャップの後端部に差込ガイドを延長して設け、かつメインキャップ下面に、前記保持ケースの係止段部と係合するカギ部を有した垂直に延びる脚部と、前記サブキャップの差込ガイドを支持するガイド支持部材とをそれぞれ設けたことを特徴とするコード挿通孔のキャップ。
- (2) メインキャップにサブキャップを結合してキャップ本体を構成したとき、両キャップの表面が同一となるように差込ガイドをガイド支持部材に支持せしめて成る実用新案登録請求の範囲第1項記載のコード挿通孔のキャップ。
- (3) メインキャップよりもサブキャップを小さく

形成して成る実用新案登録請求の範囲第 1 項または第 2 項記載のコード挿通孔のキャップ。

(4) 保持ケースとキャップ本体が平面円形状を呈する実用新案登録請求の範囲第 1 項、第 2 項または第 3 項記載のコード挿通孔のキャップ。

3 考案の詳細な説明

本考案はコード挿通孔のキャップに関する。

一般に建物内のコンピューター設置室等においては、当該室の床面にコード挿通孔を形成し、これにより床面下方に敷設してあるコンピューター用コードを床面上に導出し、またコンピューターデスクの天板や側板にもコードの挿通孔が形成される。

このようなコード挿通孔は、コードを挿通しないときには外観上の体裁を損わないよう孔をキャップで閉塞しておく必要がある。またこのキャップは必要時に簡単に外れなくてはならない。

本考案は上記の場合に使用されるコード挿通孔のキャップに関するもので、本考案の一実施例を図面について説明すると、キャップ本体(1)はメイ

ンキャップ(1)aとサブキャップ(1)bとの分離可能な2部分から構成され、メインキャップ(1)aとサブキャップ(1)bとが一体的に結合してキャップ本体(1)を形成し、これによりコード挿通孔(8)を完全に閉塞できる形状となる。

このメインキャップ(1)aはサブキャップ(1)bよりも大となるよう形成されており、かつメインキャップ(1)aの下面には直径方向で対向する一対の脚体(3)、(3)が垂設され、この脚体(3)、(3)の下端にはカギ部(3)aが外向きに形成されている。またサブキャップ(1)bの端部には後方に延びる差込ガイド(6)が設けられている。この差込ガイド(6)はメインキャップ(1)aとサブキャップ(1)bの結合時に、表面が一致するようにメインキャップ(1)aの厚味に相当した段差(6)'を介して後方に延長されている。

ついで符号(2)は、キャップ本体(1)を定位置に保持するために例えばテーブルの天板(7)に設けたコード挿通孔(8)に嵌合保持される筒型の保持ケースであり、この保持ケース(2)の内周壁の下部には係止段部(2)aが形成されている。(4)は保持ケース(2)の

上端に形成した環状鋤部である。

さらに前記メインキャップ(1a)の下面には、サブキャップ(1b)の差込ガイド(6)を支持する一対のガイド支持部材(5)、(5)が設けられている。

本考案のメインキャップ(1a)とサブキャップ(1b)は分離可能であるが、第1図に示す如く両キャップが一体的に結合された場合は、コード挿通孔(8)を閉塞することができ、このコード挿通孔(8)にコードを挿通する際には、メインキャップ(1a)からサブキャップ(1b)を取外してコード挿通孔を確保する。

即ちサブキャップ(1b)がメインキャップ(1a)のガイド支持部材(5)、(5)に差込ガイド(6)を差込むことにより両キャップの表面が一致した状態で結合されると共に、メインキャップ(1a)は保持ケース(2)の係止段部(2a)に脚体(3)のカギ部(3a)を係止させることにより保持されてコード挿通孔(8)が閉塞され、この状態から係止段部(2a)とカギ部(3a)の係止状態を解除してメインキャップ(1a)を保持ケース(2)から取外し、ついでサブキャップ(1b)の差込ガイド(6)を支持部材(5)、(5)から引抜いてサブキャップ(1b)をメインキャ

ツブ11aより取外す。前記キャップ本体(1)と保持ケース(2)は通常合成樹脂の如き弾性素材で形成するから、上記の操作は比較的簡単に行える。

このようにすることによつて、サブキャップ(1b)が存在していた部分が開口し、これをコード挿通孔のコード挿通位置として確保することができる。

つぎに本考案では、第4図Bに示す如く、取外したサブキャップ(1b)を裏返してサブキャップ(1b)の差込ガイド(6)をメインキャップ(1a)下面の支持部材(5)。 (5)に前記開口部と反対方向から差込むと、サブキャップ(1b)はその全体がメインキャップ(1a)下面に隠れて積層状態で収納することができる。

このサブキャップ(1b)を再度使用するときは、上記順序とは逆に、裏返し状態にあるサブキャップ(1b)をメインキャップ(1a)から引抜き、これを反転して再度支持部材(5)、 (5)の反対方向より差込ガイド(6)を差込み、第3図Bの状態に復元させる。

さらに本考案によれば、サブキャップ(1b)の取外しだけではコードの挿通部分が挟み場合には、サブキャップ(1b)と共にメインキャップ(1a)も同時に取

外して広いコード挿通部分を確保することも可能である。

なおサブキャップ11bとメインキャップ11aとの分離接合面は図面に例示した波形状のほか適宜の形状に変更できることは当然である。

よつて本考案によれば、コード挿通孔の不使用时には体裁よくコード挿通孔を閉塞することができ、またコード挿通孔を使用するときは簡単な操作でコードの挿通部分を確保できるとともに、不要となつたサブキャップをメインキャップ下面位置に確実に収納することもできて、サブキャップを散逸する惧れもない等のすぐれた効果を具有する。

4 図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示すもので、第1図は本考案の平面図、第2図は前図のII-II線断面図、第3図Aは本考案の平面斜視図、第3図Bは同底面斜視図であり、第4図Aはサブキャップをメインキャップ下面に収納した状態の平面斜視図、第4図Bは同底面斜視図、第5図はサブキャップの

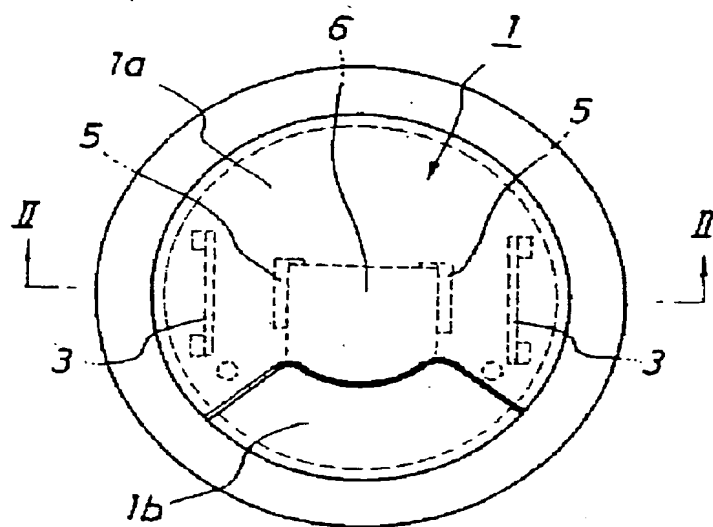
平面図、第6図は前図のⅥ-Ⅵ線断面図である。

図中(1)はキャップ本体、(1)aはメインキャップ、
(1)bはサブキャップ、(2)は保持ケース、(3)は脚体、
(3)aはカギ部、(5)はガイド支持部材、(6)は差込ガイド、
(6)'は段部、(8)はコード挿通孔である。

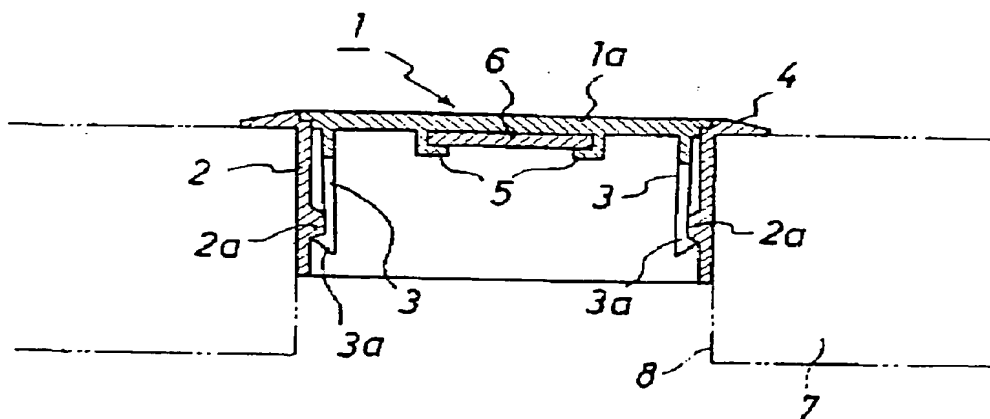
実用新案登録出願人 コクヨ株式会社

代理人 弁理士 大内 俊 治

第 1 図



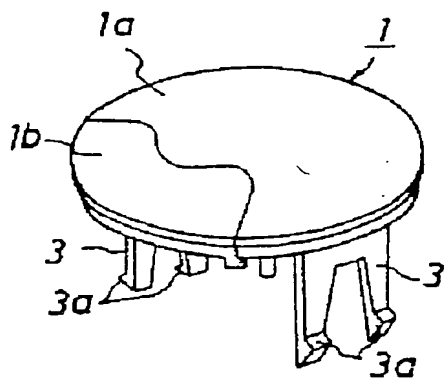
第 2 図



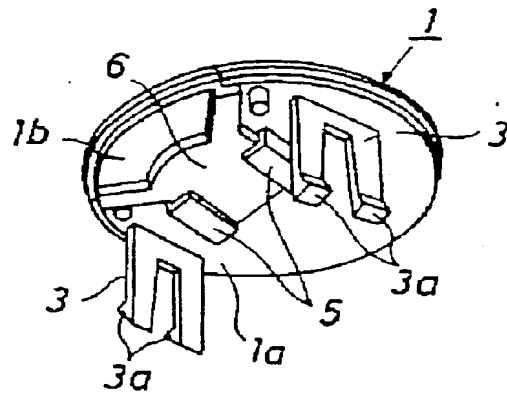
262

代理人 弁理士 大 内 俊 治

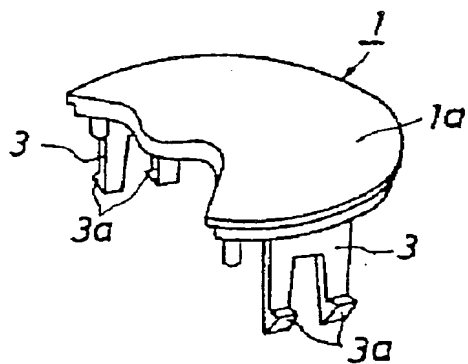
第 3 図 A



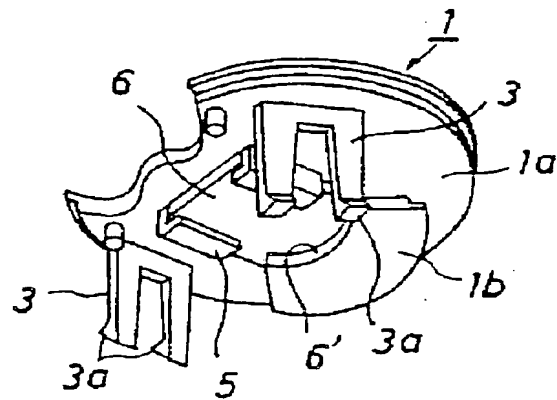
第 3 図 B



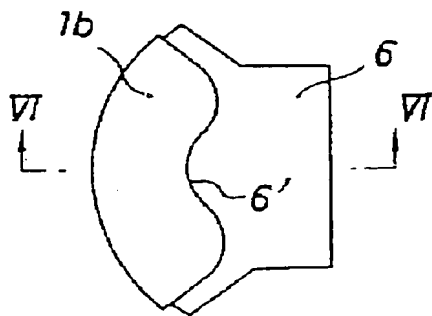
第 4 図 A



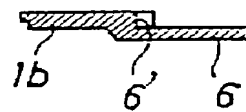
第 4 図 B



第 5 図



第 6 図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.